



千代田区商連会報 第168号

◆発行：千代田区商店街連合会 千代田区神田錦町三丁目 21 番地

◆発行人：高山 肇 ◆編集：区商連事務局

TEL：5281-1171 FAX：5281-1178

http://www.chiyodaku-shoren.jp

皇居があり、国の機関が集まる千代田区は東京の玄関口

新年会

令和4年 合同新春情報交歓会

◆コロナに負けず頑張ろう！

新型コロナウイルスの感染が終息を見せない現状を踏まえ、区商連・区振連の今年最初の行事である新春情報交歓会を開催すべきか否かについては昨年からの執行部の中で議論が交わされておりました。「今年一年は我慢だ」、「こんな時期だからこそ集まるべきだ」、「クラスターの恐れは無いのか」等などの意見がありましたが、最後は、新年にあたりみんな



なで元気な姿を見せあうことが、商店街の結束を深めるうえで必要であり、開催すべきであるとの結論を得ました。

その後、区商連と区振連の両代表を中心にコロナの感染対策に重点を置き、交歓会が円滑に進行するように協議が行われました。

この結果、令和4年の新春情報交歓会は、①例年行っていた講演会は実施しない。②交歓会を第一部と第二部に分け、一部は参加者相互の挨拶と紹介を、二部はパーティーション設置の上での会食を行い、各商店会から近況報告など一口コメントを頂き情報交換を行う場としました。結果、第一部は84名、第二部は65名の参加があり盛会の内に運営が行われました。

第一部は、高山肇区商連会長の主催者挨拶から始まり、来賓挨拶は区長・議長・都議から頂きました。そして、角谷幸男区商連副会長の閉会の辞で終了となりました。

◆高山区商連会長の挨拶

皆さん明けましておめでとうございます。お揃いで区商連・区振連の新春情報交歓会においで頂き有難うございます。

こういう時期ですので出席頂けるか心配をしておりましたが、おいで頂きたいと思っていたお客様に、このように大勢ご来会を頂き本当に嬉

しく感じております。

この二年間は、コロナ禍の影響で新年の顔合わせを開催できずに来ましたが、本日は如水会館とも綿密に相談しながら出来る限り安全な会になるよう対応を行っております。多少ご不便をおかけしますが、お許しを頂きこの会を実りある懇親の会にしていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

区商連・区振連のこれまでの日常の活動は、人に集まって頂く、そして、賑わいを作っていく、そんなイベントを企画してきましたが、ここ数年はそれが叶わずにありました。しかしながら、行政の応援メニューを活用して皆で知恵を絞りながらなんとかこの大変な時期をぐり抜けてきました。

街も少しずつですが、明るさが見えてきました。これもひとえに千代田区をはじめ、東京都、そして政府の関係者の皆様のおかげと心より感謝しております。

商店会もこの危機の中、結束が強まり、大変な時期の中にもかかわらず、新しく商店会が誕生しました。区商連の仲間が一つ増えました。



高山区商連会長

今年は更に商店会のプレゼンスを高め、地域の、そして千代田区の期待に応えていきたいと思っております。

どうぞご来会の皆様の変わらぬご支援とお力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

本日はご来会頂き誠にありがとうございます。でございます。

◆樋口区長のご挨拶

新年あけましておめでとございます。千代田区長の樋口高顕でございます。

本日は、千代田区商店街連合会と千代田区商店街振興組合連合会の新春報交歓会にお招きいただきまして、誠に有難うございます。皆様におかれましては日頃より区政へのご理解ご協力を頂き深く感謝申し上げます。本年も昨年同様、よろしくお願い申し上げます。また、新型コロナウイルスの感染が広がりを見せる中でも入念な対策を講じて、この新春の集いを開催されたご努力に敬意を表するところでございます。



樋口区長

さて、もう足掛け3年にもなりますこのコロナ禍において商店街の皆さま方におかれましては大変厳しい状況であったことと拝察申し上げます。ご存じの通り千代田区は80万人超の昼間人口による需要が経済活動にとつて非常に重要な意味を持ちます。しかしながら、昨今のリモートワークや事務所の地方への移転・縮小などの動きは、区としても見過ごす訳には参りません。

本日にゾツとするゴーストタウンのように人っ子ひとりいない街ではなく、やはり、商店街に街本来の賑わいや活気を必ずや取り戻す必要があることを、当時、都議会議員でありましたが強く意識しております。

今後、創業支援や経営支援、観光振興を通じて街の魅力を高め、商業地として活力ある街とするため全力で取り組んで参ります。そのために、PayPayキャンペーンも新しい日常店もチャレンジ小口応援補助金や商工融資制度など様々な支援策を展開し、来年度も商店街の皆さまに寄り添い、しっかりと応援して参ります。

さて、区商連と区振連の各商店会の皆さんが取り組んでおられます「ちよだ夢ハガキ」事業は、麴町・神田料飲組合、神田スポーツ店連絡協議会、千代田観光まちづくり実行委員会と連携して行い、商店街が地域の背骨となつてご尽力されてお

大変反響も大きく誠に頼もしい限りであります。地域を元気にしようとして、この千代田区を他に抜きん出た魅力ある街として築き上げていきたいと決意しております。

結びにあたり、千代田区商店街連合会並びに千代田区商店街振興組合連合会が益々ご発展されますとともに、ご臨席の皆様のご健勝を祈念いたします。新年の挨拶とさせていただきます。

◆桜井ただし

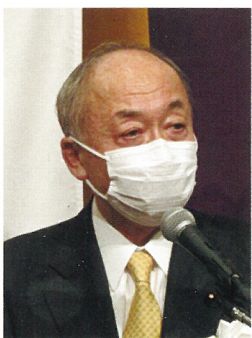
千代田区議会議員

新年明けましておめでとございます。

ただ今、ご紹介をいただきました、千代田区議会議員の桜井ただしでございます。

希望に満ちた令和四年の新春を迎え、千代田区議会を代表いたしまして謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

千代田区商店街連合会・千代田区商店街振興組合連合会の皆様には、平素より区政の各般にわたりご協力



桜井区議会議員

賛助会員のみなさま



を賜りますとともに、商店街の発展と活力ある地域社会づくりにご尽力いただいておりますことに、心から敬意を表するとともに、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、まずもって、一昨年から全世界的に猛威を振るっております『新型コロナウイルス感染症』の一言に尽きるのではないかと思います。

都内の感染者については、昨年10月9日以降2桁となり、今年に入ってもその傾向は続いておりませんが、新たな変異株である「オミクロン株」が発見されたことにより、第6波も懸念されているところですので、ご参会の皆様におかれましても、引き続き、マスク着用、手洗いなどの『新型コロナウイルス感染症対策』に努めていただきたいと存じます。

また、国内の災害に目を投じますと、東北並びに北陸地方での大雪等による被害や、栃木県足利市、東京都青梅市等の林野火災被害、福島県沖や能登半島等を震源とする地震被害、大雨による静岡県熱海市の土石流による被害等をはじめ、全国各地で台風や集中豪雨などによる災害が多数発生しました。本区においても、想定外の災害等にも対応できるよう、より一層の危機管理体制の充実に向けた取り組みが必要であると再認識いたしました。

区政においては、危機管理対策をはじめ、次世代育成支援や保健福祉

施策の充実、環境対策の推進を契機とした施策の推進など多くの課題がございます。

私ども区議会といたしましては、これらの課題解決を図り、安全で安心して暮らし続けられるまち千代田の実現に向け、執行機関と連携を図り、全力を尽くしてまいりますので、相変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

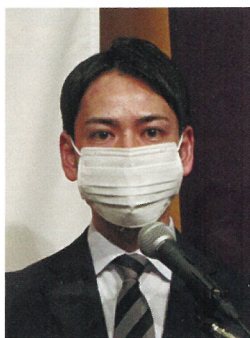
結びに、本年は壬寅の寅年で、「何か新しいことが始まる年」と言われています。

本年が、区商連・区振連の皆様をはじめ、本日ご参会の皆様にとつて幸せに満ち溢れた明るい一年となりますことを心からお祈り申し上げます。そして、新年のご挨拶といたします。

◆平けいししょう

東京都議会議員

平けいししょう都議会議員からは、千代田区選出都議として、樋口区長と協力して千代田区の商店街活性化に向けて都政の場で力を尽くすとの挨拶がありました。



平都議会議員

◆第二部のあらまし

第二部は、小野里耕作区振連代表理事の開会挨拶の後会食を経て、お茶の水茗溪通り会代表から商店会報告が始まりました。そして、それぞれの商店会から取り組んでいるイベントや未解決の都市計画道路に関する事、また、長年にわたる地下鉄工事の影響など各商店会が抱える諸問題が語られました。そして、河合洋区振連副理事長の中締めの後、土井新三区商連監事の閉会の挨拶を経て終了となりました。

◆小野里区振連

代表理事の挨拶

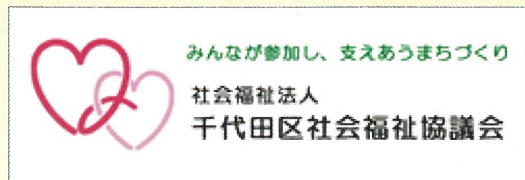
コロナウイルス、オミクロン株の予想を超えた急速な感染拡大の中、私達商店街は大変厳しく苦しい状況が続いておりますが、皆様方と協力し合いながら何とかこの苦況をのり切り安心してお買い物が出る活気溢れる商店街にしていきたいと願っております。

また日頃より皆様方には各商店街



小野里代表理事

賛助会員のみなさま



の事業に格別のご支援ご協力を賜り厚く御礼を申し上げますと共に一日も早いコロナの収束、そして皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

◆ちよだ夢ハガキ 当選者決定！

昨年11月15日から本年1月10日までの間、応募を行った「ちよだ夢ハガキ」事業の抽選が行われました。

この事業は、千代田区商店街連合会、千代田区商店街振興組合連合会、麴町料飲組合連合会、神田料理飲食業組合連合会、神田スポーツ店連絡協議会、千代田区観光まちづくり実行委員会の6団体が連携して実施されました。

そのあらまは、区内の参加商店で700円以上のお買い物や飲食をされたお客様に夢ハガキをお渡しし、応募された方のうち700名の



方に総額700万円相当の商品をプレゼントするものです。

狙いとするところは、コロナ禍にある千代田の街を商店街関連の6団体が連携して、元気を取り戻そうとするものです。

そのため、次の三つのことを目的にしました。その一は、区内商店会をご利用のお客様に抽選で夢をゲットして頂くこと。その二は、参加商店の販売を促進し、売り上げに貢献すること。その三は、当選商品総額700万円を全て参加商店から買い上げることです。

抽選会は、1月18日に夢ハガキ事業検討委員会の皆様が集合し、プラットホームスクエアの会議室で行われました。応募総数は約35000件で、結果は商品の発送をもって当選者にお知らせします。遅くとも2月中にはすべての商品の発送が完了します。

◆お弁当大賞が 決定しました！

新型コロナウイルスの蔓延で窮地に立たされた飲食店の皆様が、感染拡大を防ぎながら新たなビジネスチャンスとして生み出したテイクアウトのお弁当に注目して、千代田区内の飲食店をおいしく応援するイベント「第2回千代田お弁当大賞」2021グランプリが決定しました。この事業は、千代田区観光ま

ちづくり実行委員会が実施したもので、区商連も協賛しています。

参加店舗は、区内の55店舗で昨年10月15日から12月17日まで投票が行われ、13552件のアクセスがあり、749件の投票と634件のコメントが寄せられました。そして、12月24日に結果が発表されました。

グランプリを受賞したのは、炭火焼専門食処 白銀屋大手町分店様（内神田1丁目6-1南特許ビルディング）でした。おめでとうございます。



すべての人に優しい商店街づくりと
区商連、区振連の発展に力を尽くします
どうぞよろしく願い申し上げます
コロナに負けず頑張りましょう

千代田区商店街連合会・千代田区商店街振興組合連合会 役員一同